

津軽みらいの わらしっ子

板柳町三千石

あらた
佐々木 改くん (1歳)

佐々木 悠さん・沙優美さん 夫妻の子供
組合員名：佐々木 悠さん

どのような、お子さんですか？

甘えん坊

チャームポイント

優しいそうな目

お気に入り

歩行器、タンパリン

好きな食べ物

バナナ

ご家族からお子さんへ一言

元気にすくすく育て、優しい強い子になっ
てください！



文芸の広場

短歌

一年生ランドセル背に手を上げて
左右見て道をば渡る
桜咲き満開見事な公園で
スワンボートこぐ子等の笑顔
幼な子の何も知らずにめされたり
大人のしこり終り見つからず
崖地にて春告げ草の二輪草
フクベラとして食卓飾る
相撲道三本の矢を見出しして
三兄弟弾む優勝
山あいの峰にかくれて咲く花の
カタクリの花白き花一輪
残雪の霊峰岩木裾野にて
ツバメ飛びかる田植の季節
りんごの花蜜蜂飛んで花盛り
槽の下一面黄色のタンポポ
爽やかにほほに伝わる風やさし
道を歩けばばすみれ咲き乱れ
藤の蔓幹にからまり天井へ
花咲かせて下界を見てる
桜庭きえ

星空に願いを込めて千羽鶴
愛しき人の命救わん
若葉雨尚もきらめく花もあり
しかと受け止め流るるままに
若葉萌えりんごの花は真つ盛り
秋の爽りを夢見る農婦
さくら散り水面に浮かぶ花筏
風の強さに筏も揺れる
風薫る春の日差しは眩しくて
木ノ芽風吹く夕餉のひとつとき
空仰ぐおたまじゃくしに屈み込み
工藤キヌエ
孫の小さな指の触るる田
鶯のこゑ真似ながら戻り来る
少年たちの大きな笑顔
脚を撫で幾度も止まる夏山路
それでも若葉触るる楽しみ
こどもの日孫の写真を眺めつつ
細き目さらに細めてをりぬ
小田慶喜

しゃぼん玉飛び来る壺を振り返る
お寺の中の園児らのこゑ
菜の花の中に埋もれるやう歩み
幼子たちの遠足途中
ゆつくりと夫と歩む夏木立
お互い思ひ出せぬ草花
夏霞かかる山々眺めつつ
思ひ出話ばかりのベンチ
小田和子

川柳

コロナ禍に数字比べて日が暮れる
議論する維新回天の夢描く
信仰のその先にある山聖
青い空球児躍動春響く
ありがとう何度聞いても心 and ち
また逢う日を楽しみにしてる絆かな
笑顔には人の心が輝いている
脳活のその先に湧く創造かな
不器用で何も自慢する物は無し
長電話孫の自慢に花咲かせ
お買物年金だけが頼りです
怠け癖ついて最後はホームレス
膨れ面何が不満か反抗期
工藤キヌエ
まだマスク黄砂に花粉にも効果
羊の毛剪られ体積半分
窓辺にて雨を知らせる雨蛙
白蟻に家を提供した我が家
小田慶喜

蝶々になるには少し重すぎる
舌を噛みそうアネモネネラリア
まだ残き夏にも汗の顔を出す
あの星座名前出てこぬ夏の星
小田和子

ごろ寝して背に温もりや春の土
見上げては桂の小花あづき色
花植えて鍛持つ女春の土
辛夷散るまだ田打ちには間のあらん
内山無双
内山山峯
一杯のお茶にくつろぐ春の夕
花の雨連れて乗り込む無人駅
汽笛待つ初夏のベンチの無人駅
老ゆる身の我が背押し来る夏の風
小田慶喜

春風と手つなぎ孫の野を走る
半分こ夫と分ける桜餅
手に落ちる紫仰ぐ桐の花
過疎の地の元気なる声夏燕
小田和子

投稿される皆様へ 短歌、川柳など毎月の投稿ありがとうございます。
クローズドクイズ応募用紙と同じ住所へ投稿してください。(J/A津
軽みらい文芸広場宛)また、読みづらい漢字には必ずフリガナをお願い
します。次回は7月に掲載となります。よろしくお願ひします。